

登録コード	HM128100	開講年度	2026				
授業題目	臨床血液学特論				担当教員	上原 剛 他	
英文授業名	Clinical Hematology				副担当	岩谷 舞	
単位数	2	講義期間	通年	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室			授業形態	講義	備考		
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素 ⇄				(授業の達成目標)		
	2026HM医学分野初, 2025HM医学分野初, 2024HM医学分野初, 2023HM医学分野初						
	【専攻】医学または保健学の研究に対する世界標準の専門分野における深い知識・卓越した技能 ⇄				血液疾患が全身にどのような影響を及ぼすか理解し説明できるようになる。また血液検査の方法やその解釈方法を理解し、説明できるようになる。		
(2)詳細/Detailed information	血液疾患が全身にどのような影響を及ぼすか理解し説明できるようになる。また血液検査の方法やその解釈方法を理解し、説明できるようになる。						
(3)授業の概要/Overview of course	血液疾患入門、凝固異常、貧血、腫瘍（白血病とリンパ腫）について形態学的、分子生物学的、検査技術学的観点から学ぶ。						
(4)授業計画/Course plan	(オムニバス方式) (上原剛/8回) 医学論文の症例報告の中から、血液疾患で非腫瘍性で典型的なもの（巨赤芽球性貧血など）を選択し、抄読会形式で授業を行い、各疾患のメカニズムや症状等について学ぶ。 (岩谷舞/7回) 医学論文の症例報告の中から、血液疾患で腫瘍性で典型的なもの（慢性骨髄性白血病など）を選択し、抄読会形式で授業を行い、各疾患のメカニズムや症状等について学ぶ。						
(5)成績評価の方法・基準/Grading/evaluation method/evaluation criteria	レポート評価 (i) 問題の設定が適切であり, (ii) その問題の背景を説明できており, (iii) その問題にどのような課題があるのかを指摘できており, (iv) それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法が適切に把握できており, (v) その上で自分の見解を提示できており, かつ, 教員を感心させるレベルにあれば「卓越している（秀）」。(i) から (v)の5項目を満たしていれば「かなり上にある（優）」。4項目までできていれば「やや上にある（良）」。3項目までできていれば「水準にある(可)」。						
(6)履修上の注意・事前事後学習の内容・テキスト・教材・参考書/Notes/Prep and review work/Textbook(s)/Reference work(s)	特になし						
(7)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	随時可						
(8)授業の形式/Course format	座学						